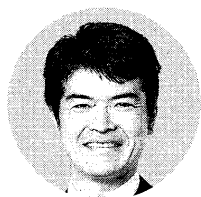


真の「困った」に対応

2週間超の長期入院事由絞る

アクサ生命

アクサ生命は20日から、長期入院での収入減



河島鉄郎 役員執行

少に備える商品を発売する。日帰り入院でも保険金が出る商品が増える中、あえて「継続14日以上」の入院で一時金を支払う」としてわかりやすくした。

商品開発本部長の河島鉄郎・執行役員は「2週間以上の入院が必要ということは重症。仕事にす

ぐに戻れない、もしくは辞めざるを得ないケースも。つまり『真に保障が必要な場合』と話す。

新たな生きるための「ユニット・リンク長期入院一時金プラス」は、長期入院での就労不能時の収入減少への備えに特化する。世帯主が働けなくなった時だけでなく、

増え続ける共働き夫婦や独身者も意識。もとより同社顧客に多い中小企業オーナーも対象だ。

生保文化センターの調査では働けなくなった際

の生活資金への経済的備えに7割超が不安をもつ。実際、2週間超の入院経験者の半分以上が入院で収入を減らす。仕事

ができない、退院後の通院や体力的に長時間働けなくなる点をあげている。短期入院は公的保障で賄える場合が多く、「自分を本当に守る」ことを考えた。

コロナでの療養は重症化し14日以上入院以外

はカバー範囲外。その分を資産形成のファンドに振り向けられる。

新商品は、死亡保障は最小限で継続入院収入支

援一時金の支払いを半年に1回を限度に最高10回まで受け取れる。平準払いで一時金を受け取っても、積立金額は減らな

い。「就業不能になっても老後はくる」(河島氏)

との視点だ。保険料払い込み期間も20〜30年満了、70〜98歳満了など自由度を高め、ユニット・リンクシリーズでは業界初の保険料の短期払いを可能にして差別化した。

同シリーズは保険の2大機能の死亡保障、長期資産形成機能を両立する。ユニット・リンク保

険、介護・認知症対応の介護プラス、合理的保険料で死亡保障が準備できる定期のシリーズ3商品の保有契約件数は今年7月に100万件を超えた。